

# 勝木会心不全療養指導士の紹介



## 入院看護での心不全療養指導士のお仕事

急性あるいは慢性心不全増悪で入院した患者さんの多職種カンファレンスを行い、事例の共有を行っています。また、退院後には再入院予防を目的に、外来受診日に心不全療養指導を行い、心不全症状やセルフモニタリングの状況を確認しています。継続して介入していくことで、少しでも心不全について知ってもらい、行動変容につなげ、心不全増悪による再入院を予防できるように支援しています。



## 看護部

- ・石田課長補佐(6階病棟)
- ・堀名主任(外来)
- ・滝野さん(4階病棟)



## 検査課での心不全療養指導士のお仕事

息切れやむくみなどの心不全症状があるときに、血液検査や心エコーなどによって、全身に血液がうまく送られているのか、心臓にどの程度負担がかかっているのかを調べています。また睡眠の質も心臓に影響するため、簡易睡眠検査やCPAPにも関わっています。

心不全を繰り返さないために、また早めに心不全症状に気づけるよう、心臓リハビリでは患者さんが自転車こぎをしている横で、日常生活をどのように過ごすか良いかを患者さんと話しながら、できそうなことから始めてもらうよう心がけています。



- 喜田課長補佐
- 中川さん





## 訪問看護での心不全療養指導士のお仕事

訪問看護では、心不全症状のモニタリング、食事、服薬、活動など実生活に合わせ、患者さんのQOLを考慮した調整、指導を行います。先の見えない介護による家族の負担も大きくなるため、家族に対する援助も行います。

また疾病管理上の問題点を多職種と共有し、支援できるよう多職種間の連携が大切になるため、「つなぐ」役割があります。



訪問

石田課長

